

経済・金融フラッシュ

No.07-121 2007/12/10

11月マネー関連～投信不振鮮明

ニッセイ基礎研究所 経済調査部門 シニアエコノミスト 矢嶋 康次

TEL:03-3512-1837 E-mail:yyajima@nli-research.co.jp

1. 貸出動向：法人企業向けの減少が続く

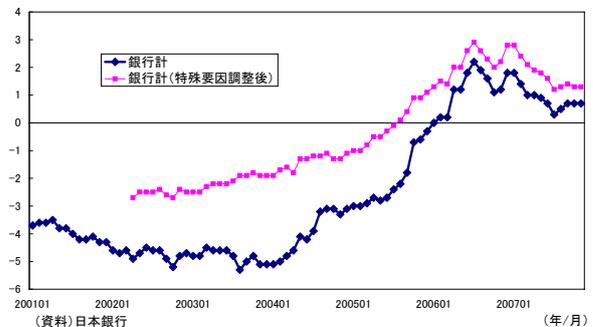
日本銀行が12月10日に公表した貸出・資金吸収動向等によると、11月の総貸出（平残、銀行・信金計）は前年比0.6%と22カ月連続のプラスとなった。（図表1）。

業態別では、都銀等は同▲0.8%と8カ月連続で前年比マイナスが続いているが、地銀は同2.3%と比較的高い伸びが続いている（図表2）。

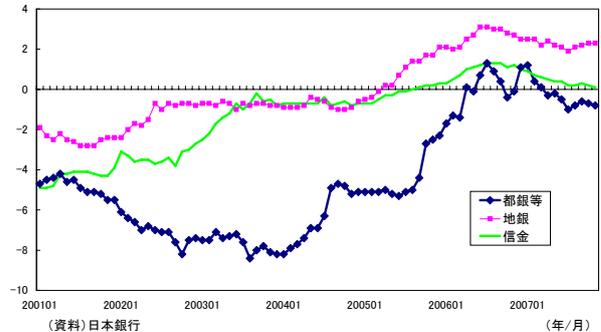
貸出先別貸出金（12/3日公表、10月分）を見ると、法人向け貸出は10月▲0.3%と6カ月連続でマイナスとなっている（規模別では中小企業のマイナストレンドが明確になってきている）（図表3）。

資金用途では、運転資金が再びマイナスに転じている（図表4）。

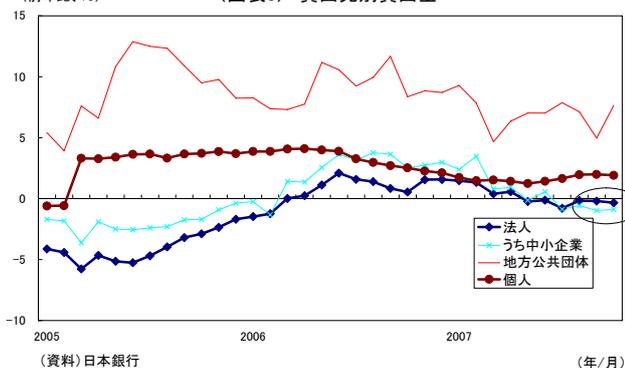
(前年比、%) (図表1) 貸出動向



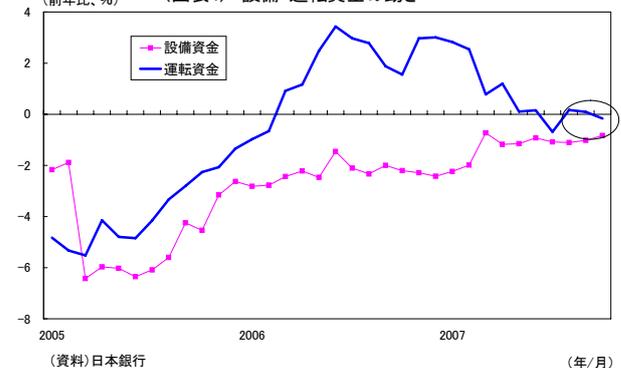
(前年比、%) (図表2) 業態別貸出動向



(前年比、%) (図表3) 貸出先別貸出金



(前年比、%) (図表4) 設備・運転資金の動き



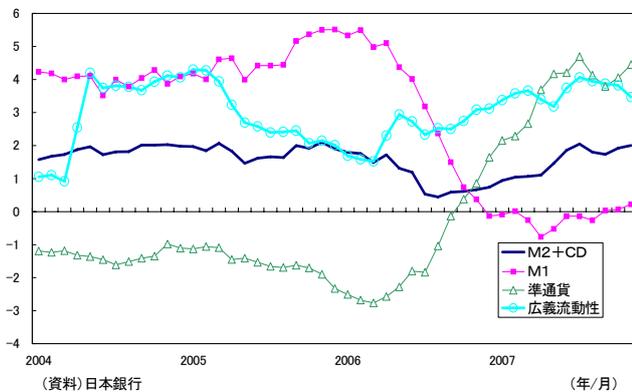
2. マネーサプライ：投信不振鮮明

マネーサプライ統計（12/10 日公表）によれば、11月のM2+CDは前年比2.0%となった。（図表5）。

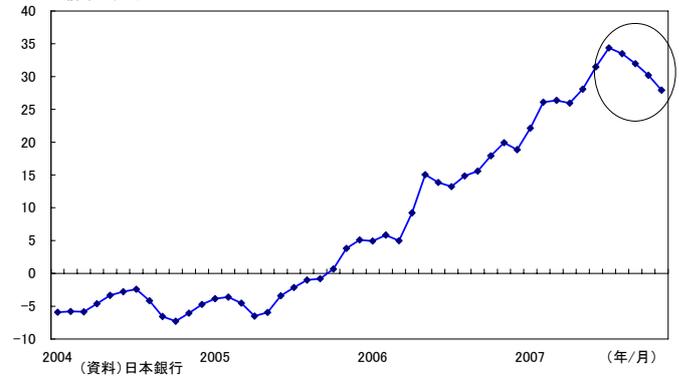
M1は9月0.0%、10月0.1%、11月0.2%と緩やかな増加が続いている。

広義流動性は、金商法、サブプライム問題の影響などから投資信託の伸び率（9月32.0%、10月30.2%、11月27.9）が落ちてきていることなどが響き、9月3.9%、10月3.8%、11月3.5%と伸び率低下が継続している（図表6）。

（前年比、%） (図表5) マネーサプライの動き



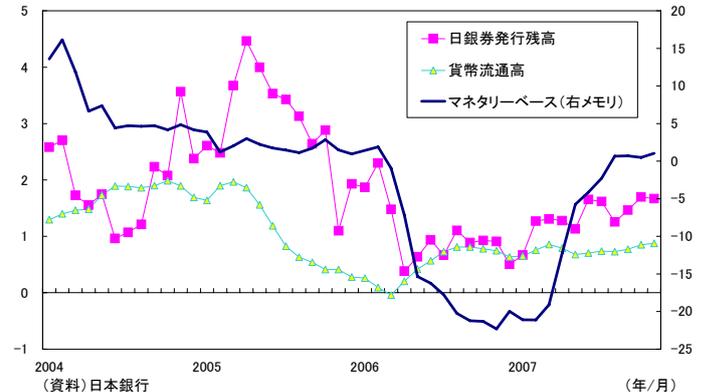
（前年比、%） (図表6) 投資信託の動き



11月分マネタリーベース（12/4 日公表）は、前年比1.0%と10月分0.5%から伸び率を高めた（4カ月連続のプラス）（図表7）。

日銀券発行残高 1.7%、貨幣流通高 0.9%は安定した動きが続いている。

（前年比、%） (図表7) マネタリーベースの動き (前年比、%)



（お願い）本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものでもありません。

（Copyright ニッセイ基礎研究所 禁転載）